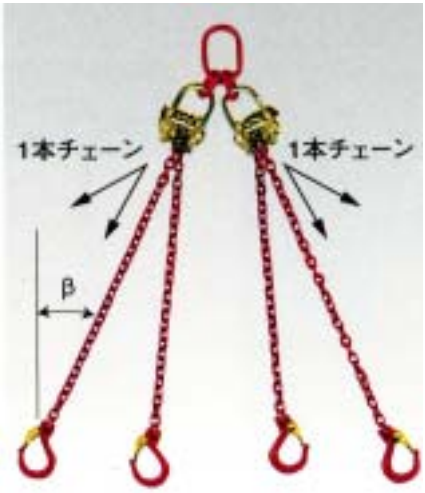
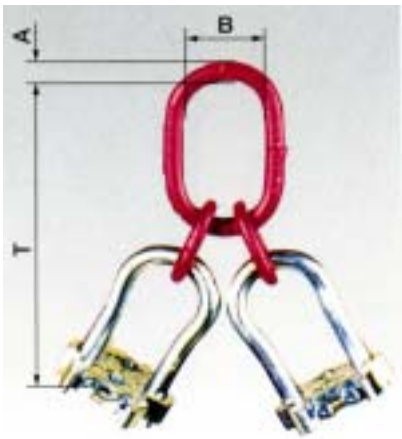
EA981VR-11、-12
(四本縣スリングチェーン)

●CEマーク取得品
●温度により色変化する特殊ピンクパウダー塗装
●押しボタンで長さ調整が可能
●ﾁｪｰﾝ点検ｹﾞｰｼﾞ付
●使用荷重…0～30°：1.3t、30～45°：1.05t、45～60°：0.75t

品番	全長	A	B	T	ﾁｪｰﾝ線径	自重
	(m)	(mm)				(kg)
EA981VR-11	1	10	35	150	4	2.77
EA981VR-12	1.5	10	35	150	4	3.49





(ｺﾌﾞﾗﾌｯｸ)

ﾁｪｰﾝ呼び径	使用荷重	A	B	C	D	F	G	T
(mm)	(t)	(mm)						
4	0.5	20	14	12	13	18	52	56

●使いやすく　●ｺﾝﾊﾟｸﾄ　●強く長持ち　●点検しやすい
●現場で目立つ　●作業者を傷つけない

①ｾｰﾌﾃｨﾗｯﾁ
外れ止めｾｯﾄは鍛造品で作られ、非常に強固に設計製造されています。
皮手袋の上からでも操作しやすいように、ﾘﾌﾞを付け滑りにくいように加工されています。
②ﾌｯｸ先端の引っ掛り部分をなくし、不慮の事故を未然に防ぎます。
③ﾌｯｸの最大口開き寸法を表示し、この寸法に達した
場合危険であることを知らせています。

④ﾌｯｸ先端を太くし、ﾌｯｸ中心へ荷重がかかるような
設計です。
⑤ﾁｪｰﾝと同じく、温度による色変化をします。

チェーンの点検を簡単にしました。

ﾏｽﾀｰﾘﾝｸとｹﾞｰｼﾞの取り付けは簡単に紛失しないように、熔接された丸ﾘﾝｸﾞ、非熔接のﾘﾝｸﾞ2個、熔接されたﾁｪｰﾝ3ﾘﾝｸにより取り付けられています。

ゲージの使用方法

チェーンの線径を測定します。

リンクの外伸びを測定します。

リンク間の磨耗や伸びを測定します。

溶接部の安全性について

熔接を終えたばかりのﾘﾝｸ。

横曲げﾃｽﾄを行います。溶接部に亀裂がないか確かめます。また、この角度までまげるのにどれくらいの力が必要か、同様に計測します。硬すぎても亀裂が発生し、やわらかすぎると規定の耐力がでません。

一度曲げたものを、反対方向に曲げなおします。この時も亀裂がないか確かめます。さらに、溶接部を引張り、変形させます。この時点でも、亀裂がないか確かめます。このﾃｽﾄは、RUD社独自のものです。

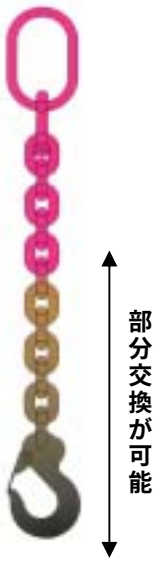
さらに、上から押さえます。この時も、亀裂がないか確かめます。これらのﾃｽﾄをｸﾘｱしたﾛｯﾄのﾁｪｰﾝのみ、熱処理工程へ移動するのです。

ピンク蛍光色について

※特許取得済

※400℃を上回る高温雰囲気では
使用できません。

高温環境下で使用されたチェーン及び金具は上記のように色変化します。



JIS（日本工業規格）B8816では下記のように定められています。　　各使用温度における使用荷重

使用温度	-40℃を越え 100℃以下	100℃を越え 200℃以下	200℃を越え 300℃以下	300℃を越え 350℃以下	350℃を越え 400℃以下	400℃を越え 475℃以下	475℃を越え
等級　V級	100%	90%	75%	65%	60%	使用不可	

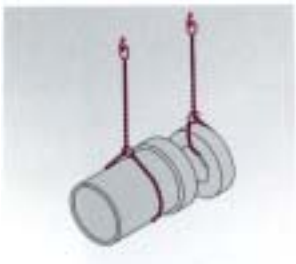
視認性の向上
暗い現場で使用されるﾁｪｰﾝに蛍光色を塗布することにより、どの位置でﾁｪｰﾝが存在するか一目でわかります。
これにより作業者の方がより安全に使用することが可能です。

錆び腐食の低減
錆び止めの意味からも有効な手段ですが、塗装と金属の密着度を上げる為に、塗装膜と金属の間に特殊なﾒｯｷを施しています。
これにより、ﾁｪｰﾝからﾎﾟﾛﾎﾟﾛと塗装が落ちることを最小限に抑えています。

温度により色変化
また高度な熱処理を施したﾁｪｰﾝを高温雰囲気で使用される場合、熱による影響を考慮する必要がありました。
一度でも高温にさらされたﾁｪｰﾝを見た目で影響を受けている判断することは非常に困難でした。
このﾁｪｰﾝは温度により色変化をします。一度でも高温で使用された場合、使用者にそのことを見た目で知らせます。
（高温から常温に戻っても色は戻りません）

直まきも安全に

ﾁｪｰﾝは下記のような荷を直接巻いて吊り上げることがよくあります。
角に当たるﾁｪｰﾝﾘﾝｸに対する影響を最小限に抑えるために、短いﾘﾝｸ寸法で設計しております。
下記に他社のﾁｪｰﾝとの比較を行っております。



■チェーン内長比較

チェーン線径（mm）	国産A社		RUD VIP	
	内長	外幅	内長	外幅
8.0	27.2	28.0	24.0	26.4
10.0	34.0	35.1	30.0	23.0
16.0	54.4	56.0	48.0	53.0

材料にもこだわっています

過酷な作業に使用されるﾁｪｰﾝｽﾘﾝｸﾞだからこそ、ﾆｯｹﾙ、ｸﾛｰﾑ、ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝを配合し、粘りと強靭さを持つ高級合金鋼を使用しております。